

名前:

情報技術の発展によりインターネット経由でニュースを見ることができるようになった。将来的には既存のメディアにインターネットが完全に取って代わり、新聞や雑誌は必要なくなるという意見があるが、私も基本的にはそのように考える。

インターネットと新聞・雑誌の長所と短所から考えてみた。時間という側面から比較すると、既存のメディアはインターネットに及ばない。新聞・雑誌に作成、印刷、運搬という過程が必要なのに対し、インターネットならば記事を作るだけで瞬時に全世界へ配信することができる。次に、空間、つまりいかにかさばるか、場所をとるかについて比べる。当然のことだが新聞・雑誌は現に物なのだから場所をとる。インターネットを使うにもコンピュータが必要だからこの点については両者に差がないような気もある。しかし情報を保存するとなると話が違ってくる。新聞・雑誌とは異なりインターネットでは過去の情報を

をデータの形で保存できるので、結果としてインターネットを使う方が場所とはならない。費用の面から考えても、新聞・雑誌を購読しようとするとはじめの場合有料だが、インターネット上には無料の配信記事も多い。そして何と云ってもインターネットの記事はニュースをより詳しく知りたいときに便利なのだ。新聞・雑誌では類似した記事を探すのが面倒だが、インターネットならバリンクを辿ったり別途情報を検索するなどしてより詳しい内容を簡単に知ることができる。この点は特に強調しておきたい。

ただ、新聞や雑誌がこの世からなくなるとも思えない。情報の信頼性はインターネットよりも高いし、長時間見ていても目が疲れにくいなどの利点もあるからだ。それでもインターネットの利点はそれらを補って余りあるものだから、近い将来既存のメディアに対しインターネットは優勢になるだろう。